

東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ④大町・只越・大只越・天神 議事要旨

記

- 日時 平成 27 年 5 月 13 日 (水) 18 時 30 分～21 時 05 分
- 場所 市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室
- 次第

1. 挨拶
2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
3. 国道 45 号東側の宅地割込み案について
4. グリーンベルト整備について
5. 災害復興公営住宅について
6. フロントプロジェクト(市民ホール・情報交流センター等)について
7. 新釜石魚市場について
8. 釜石港海岸の防波堤について
9. 甲子川水門の進捗状況について
10. 釜石湾港防波堤の復旧状況について
11. 意見交換

道路工事に伴うインフラ整備についてだが、水が溜まることが予想される。具体的な内容はどうなっているのか？

→ フラップゲートと呼ばれるものを下水管の整備の際に配置し、海からの海水流入を防ぐ予定です。また、雨水など土地の排水に関してはポンプで排出します。

復興事業はいつまでに終わる予定か？

→ 震災から 10 年。平成 23 年～平成 32 年までを計画しています。釜石で被災した地区の 1 つが「東部地区」であり、進捗状況は全ての地区で一律の進み方ではない。

インフラ整備をしていく中で、新たに水道・ガス管・電線などを地下に埋め込むことは考えていないのか？もし整備するなら、工期が半年や1年ほど遅れても個人的にはかまわないと考えている。

→ 確かに、世界的に見ると日本は電線の処理については遅れていると言えます。

電線を地中に埋めることは確かにやりたいとは思うのですが、ここは東北電力の事業になりますので、そうなると予算がかかってしまいますし、時間もかかります。今回はそのような理由があり、電線を埋めることはしない予定です。

予算についてはどうなのか？

→ 必要な予算については、国が面倒を見てくれる予定である。

災害復興公営住宅スケジュールについてだが、自分が入る予定の地区がまだ設計中となっている。具体的な工期がわからないが、設計中でもいいから日程の説明をだしてもらいたい。

→ 今年度に入ってから、建物の説明をさせていただきました。当初市で設計していた1LDKと2LDKの割合と実際の希望にギャップが生じているので設計の見直しのため工期が遅れています。只越1号・只越2号については、この表に書いてある予定から3~4ヶ月遅れるかと思います。(平成28年3月の完成予定)また、この場で説明できない場所は、大只越2号と浜町です。2号は仮設住宅の集約状況を見ながらスケジュールを組んでいきます。浜町は造成工事のスケジュールを見ながら進めています。

下水や道路整備の話が出ているが、大潮や大雨での浸水がある状態である。

→ 今のインフラを切断することなく、工事を進めていかなければなりません。出来る限り皆さんに不便をおかけしない工程でやってまいりますので、よろしくお願いいたします。

中心市街地に公園があったのだが子供を育てるのには欠くことができないと思います。今後復元するか、新たに作って欲しい。このあたりはどうなっているか？

→ 公園については、今後行う買収の個別説明会をしていく中で、空いている土地を確保しながら公園の場所としても計画していくと考えています。もしかしたら、震災前の市内の公園面積よりも広くなる可能性もあります。

以前は、自分たちが住んできた地区(市役所の前方あたり)が「行政エリア」に設定されていた。今の市としての行政エリアの具体的なプランはどのような内容なのか?今の考え方だけでも聞かせていただきたい。

→ 行政機能に関するプランは「フロントプロジェクト2」があります。当初は、現在の市役所前に広げる計画でした。しかし用地確保の目処が立たなかつたため断念しました。今後の市役所の建設は、今の場所に建て直すか天神町の敷地を考えています。その為、市役所周辺エリアの住民の皆様に関しましては、どうぞ商売の再建をしていただきたいと思います。但し、復興計画がまだあるので公式発表のタイミングは見計らっているところです。

商店街について。大町に商店街はあるのだが、本当は只越にもあるんです。忘れてもらってはこまる。

→ 大町4号の1階部分を店舗にする計画があります。浜町はこれからの計画です。仰るとおり、大町だけではなく浜町エリアも含めて釜石の全てが復興できるように考えているところです。実はのんべえ横丁の再建も計画しており、現在、元々お店をやっていた方にお声がけをしておりますが、高齢や後継者不在の為に長くは続けないという方もいらっしゃいます。浜町商店街に関しても、再建を考えたいところですが、まずその商店街の再建を望んでいる方々がどの程度いるのかを、意向調査をして調べていきたいと思います。

震災の跡、家は残ったのだが地区年数が経っているので、ひび割れなどがある。公営住宅を作る工事で、振動などが今の家に影響があるのか心配している。

→ 5月28日に説明会をしたあと、地域の家屋調査を行い、危険が無いかお調べするのでよろしくお願ひします。

防潮堤の窓が多いと感じる。海を見るためのものだろうからもっと少なくてもいいんじゃないいか?工期も金もかかるはずだが。

→ おっしゃるとおり、窓は海を見るためのものです。多ければ多いほど時間と予算はかかります。但し、市としては海の眺めを確保したいという考え方で行っている次第です。

道路がかなり混雑する場所がある。(大只越)盆やお彼岸はすごい混雑がある。子供が歩くのも大変なときがあるので、工事には気をつけてお願いしたい。

→ 貴重なご意見ありがとうございました。

東部地区にこれから大きな建物が建つ予定のようだが、情報交流センターの建築の際、地域住民にしっかりととした説明がなく、いきなり工事が始まったという印象だった。今後は説明をしっかりと行うべきかと思う。それは行政というより工事業者なのかもしれないが、市の方から指導をしていただけるようお願いしたい。

→ そのときの状況を調査するとともに、今後は事前にしっかりと説明を行うようにいたしますのでよろしくお願いいたします。

潜水士が潜れる深さの限界はどの程度か？

→ 20～30Mが限界かと思われます。

現在建造しているケーソンについて。前回防波堤が壊れた理由を加味して、新しく作っているものをどのように工夫しているのか？

→ ある箇所に石を盛ること、新しいケーソンの底面に、摩擦を大きくするマットを敷く、といった工夫をしています。

今回の防潮堤は、今までのものとどのくらいの違いと安全度があるのか？

→ この防潮堤の設計に関しては、何百年に一度の大規模地震に対して、また、津波に関しても安定する基礎構造になっています。幅については4メートル、深いところは30メートルの深さに打ち込みます。安全率は、計算上想定される危険を上回る数値になっています。

(市長)：本日は長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございます。説明が多くて申し訳ありません。さて、質問にもありました、市役所エリアに関して。「フロントプロジェクト2」の計画となります。本日は詳細な説明は出来ませんでした。このエリアについてですが、先ほど副市長からの説明があった通り、今の市役所がある場所に新たに建て直すのか、あるいは天神町に建てるのかといった話があります。今後も話し合いをしていきながら、最終的な方向性を決めていきたいと考えています。場所は決定していませんが、このどちらかの場所にしたいということは本日お伝えしておきます。また、敷地内には例えばこの地域で活躍された井上ひさしさんの記念館や、その他コミュニティースペースも置きたいといった話もあります。「フロントプロジェクト2」については、決して市役所の話だけではありませんので、皆さんのご意見もいただきながら、今後も進めていきたいと考えております。「フロントプロジェクト3」についても同じような事が言えます。現在、魚市場の計画が進んでいますが、その近くに魚の復活という意味で拠点を作っていくたいと考えています。次の説明の際にはお話しが出来るように、計画を進めてまいります。市の計画は皆さんのご理

解を得られなければ進めることが出来ません。計画が遅れている理由の1つは、地権者様との交渉です。復興住宅の遅れの理由は、入居者の希望する間取りが想定と違ったためです。また、嵩上げについてですが、今後遅れが出る可能性があるとすれば、土砂を集めるために時間がかかる事が想定されます。今後ともご理解のほどよろしくお願ひいたします。このような説明会の会場が狭い、というお話をいただきました。現在釜石にはまだ広い会場を用意することが難しい状況ですが、今後はもう少し地域を限定して開催していくことも考えたいと思います。最後になりますが、2019年ラグビーワールドカップの会場地として釜石が選定され、準備を行っている段階でございます。また、橋野もユネスコの世界遺産選定の勧告を受けることができました。最終的に6月～7月に行われる委員会で決定されるということで、期待をしている状況です。SMCの拡張も決定いたしましたし、岩手大学の水産に関する学部を釜石にする計画も出てきています。このような明るいニュースも釜石に入ってきています。今後ともよろしくお願ひいたします。